



Infor LN 品質 適合レポートユーザ ガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	qmconfrepug (U9869)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017 年 12 月 19 日

目次

文書情報

第1章 はじめに.....	7
第2章 マスタデータの設定.....	9
ロット/シリアル番号付品目の文書の指定.....	10
第3章 ソース検査処理.....	13
テストの組合せを指定しない適合レポートの導入.....	13
テストの組合せを指定する適合レポートの導入.....	14

文書情報

目的

本書の目的は、適合レポートの目的、および必要なマスターデータの設定方法を説明することです。

対象読者

本ガイドは、適合レポート機能の使用方法、ソース検査の導入方法、および目的に合わせて必要なマスターデータを最適に設定する方法を理解したい人を対象にしています。エンドユーザでも管理者レベルのユーザでも、必要な情報を見つけることができます。

前提となる知識

品質および倉庫での検査処理に関する業務プロセスに精通し、Infor LN の機能の一般的な知識があると、本書の理解に役立ちます。また、一步先んじることのできる品質トレーニングコースも用意されています。

本書の概要

第 1 章「はじめに」では、適合レポート機能の目的と一般的な特徴について説明しています。

第 2 章以降では、適合レポートおよびソース検査の処理の実装に必要なマスターデータの設定について説明しています。

本書の使い方

本書は、オンラインヘルプのトピックをまとめたものです。そのため、マニュアルの別のセクションを参照するときは、次の例のように示しています。

参照されたセクションを見つけるには、目次を参照してください。

下線付きの用語は、用語集の定義にリンクされています。本書をオンラインで表示している場合、下線付きのテキストをクリックすると、本書の末尾にある用語集の定義にジャンプします。下線の付いていない参照は、用語集の定義やその他の要素へのリンクではありません。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいますようお願いいたします。

第1章 はじめに

1

適合レポートは、品質のソース検査に関して戦略的に重要です。ソース検査の一部として、品目の出荷前にその適合文書をチェックする必要があります。適合文書には、ソース検査が実施されたことを箱に記載した単純なラベルから、顧客固有のレポート、初回品検査レポートや証明書などの業界標準文書まで各種のものがあります。

第2章 マスターデータの設定

2

この章では、適合レポートのマスターデータの設定について説明しています。

適合レポートのデータ設定

次に示す場合、発注先の敷地における品目の適合レポートが必須です。

- 受取取引先が品目が基準に適合していることを検証できない場合、または設備、重要なゲージ、テスト設備の相関問題が存在する場合
- 出荷品目が複数部品で構成された組立品であり、分解しない限り検証できない場合
- 部品の外注/改善スケジュールが実現できる場合
- ソース検査が発注先監査手順の一部である場合 (初回品検査など)

マスターデータの設定

適合レポートを導入するには、次のデータを設定する必要があります。

ステップ 1:

導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0500m000) セッションで、[品質管理] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

ステップ 2:

品質管理パラメータ (qmptc0100m000) セッションで、デフォルトのオプションセットを指定します。この値が適合文書 (qmptc0191m000) セッションのデフォルト値になります。

ステップ 3:

テストの組合せ (qmptc0119m000) セッションで、品目または品質グループの [適合レポート] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスがオンの場合、標準テスト手順を指定する必要はありません。適合レポートについてのみ、検査オーダーが作成されます。

標準テスト手順も指定した場合、適合レポートとテスト手順について個別の検査オーダーが作成されます。

ステップ 4:

適合文書タイプ (qmptc0190m000) セッションで、適合文書タイプを指定します。文書タイプを使用することで、適合文書タイプを指定できます。

ステップ 5:

適合文書 (qmptc0191m000) セッションで、適合文書を作成します。文書コードは、特徴 (qmptc0101m000) セッションに定義された品目の特徴を示します。

注意: 適合文書セット (qmptc0192m000) セッションで、複数の文書を文書セットにリンクできません。

ステップ 6:

適合レポート (qmptc0194m000) セッションで、適合レポートコードを作成します。購買/販売オーダーおよび購買/販売契約の処理時にこのコードが参照されます。このコードは、任意の適合文書セットにリンクできます。

サードパーティ取引先がこの文書を承認する場合、その取引先をこのセッションで指定します。

適合コードは、初回品検査ルール (qmptc0116m100)、品目 - 購買 (tdipu0101m000)、品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000)、品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000)、または販売オーダーライン (tdsls4101m000) の各セッションの [適合レポート] フィールドに指定できます。

ロット/シリアル番号付品目の文書の指定

適合文書 (qmptc0191m000) セッションで、次の項目を指定できます。

- 入庫の個々のロットまたはシリアルについて、個別の文書を用意する必要があるか
- 入庫のロットまたはシリアルの全体について、文書を 1 点用意する必要があるか

ステップ 1:

シリアル番号付品目について、発注先が品目の各シリアルに文書を 1 点用意する場合は、[シリアルごとに 1 文書] チェックボックスをオンにします。オフの場合、シリアル全体について文書を 1 点のみ用意する必要があります。

ステップ 2:

ロット品目について、発注先が各ロット品目に文書を 1 点用意する場合は、[ロットごとに 1 文書] チェックボックスをオンにします。オフの場合、ロット全体について文書を 1 点のみ用意する必要があります。

ステップ 3:

品目にシリアル番号が付いているか、ロット管理されていて、上記のチェックボックスがオンの場合、検査オーダー (qmptc1100m100) セッションで、シリアルまたはロットごとにテストデータラインが作成されます。

注意: ロット管理されているシリアル番号付品目の場合、まず [シリアルごとに 1 文書] がチェックされます。このチェックボックスがオフの場合、 [ロットごとに 1 文書] チェックボックスがオンかどうかチェックされます。

適合が複数文書のセットで構成されている場合、各シリアルまたはロットについて文書を用意する必要があるかどうかを指定できます。見込品目についても、検査オーダー (qmptc1100m100) セッションでテストデータラインが 1 行のみ作成されます。

テストの組合せを指定しない適合レポートの導入

テストの組合せを指定しない場合でも、品目 - 取引先の組合せについて、適合レポートを導入できます。

テストの組合せを指定せずに適合レポートを導入するには:

ステップ 1:

品目 - 購買 (tdipu0101m000)/品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションまたは品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000)/品目 - 販売 (tdisa0601m000) セッションの [適合レポート] フィールドに適合コードを指定します。

ステップ 2:

購買オーダー (tdpur4100m900) セッションまたは販売オーダー (tdsls4100m900) セッションで、購買オーダーまたは販売オーダーを作成します。

ステップ 3:

購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションまたは販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションの [入庫] タブで、必要なオーダーラインの検査チェックボックスをオンにします。次の検索基準に基づいて、適合レポートコードが入力されます。

- 初回品検査が品目に適用可能である場合、初回品検査ルールに指定された適合コード
- 品目 - 取引先データセッションで指定された適合コード
- 品目購買/販売データセッションで指定された適合コード

注意: 適合レポートに関連付けられている適合文書の表示、またはその文書の発注先への通知を行うには、購買オーダーの出力 (tdpur4401m000) セッションまたは販売オーダー確認/RMA の出力 (tdsls4401m000) セッションで [出力] をクリックし、[付属情報] グループボックスの適合レポートのチェックボックスをオンにします。

ステップ 4:

オーダーを承認し、倉庫管理に購買オーダーを発行します。

ステップ 5:

倉庫検査 (whinh3622m000) セッションで、次の操作を行います。

- [適合レポート] フィールドの適合コードを確認します。承認済オーダが倉庫管理で処理されると、このコードがデフォルト値になります。
- [詳細] をクリックして、コードにリンクされた適合文書を確認します。
- [適合文書の受入] チェックボックスをオンにして、各検査ラインにリンクされている文書を受け入れ、倉庫検査オーダを処理します。注意: 倉庫検査に適合コードが入力されている場合、[適合文書の受入] をオンにしない限り、「承認済」数量を入力することはできません。

テストの組合せを指定する適合レポートの導入

テストの組合せを指定する適合レポートを導入するには:

品目についてテストの組合せを作成する場合、品質で適合文書のチェックが実行されます。倉庫検査 (whinh3622m000) セッションの [適合文書の受入] チェックボックスがオンになります。

ステップ 1:

テストの組合せ (qmptc0119m000) セッションで、指定品目に対するテストの組合せを作成します。

ステップ 2:

購買オーダ (tdpur4100m900) セッションまたは販売オーダ (tdsls4100m900) セッションで、指定の組合せに対する購買/販売オーダを作成し、そのオーダを倉庫管理に発行して確認します。

ステップ 3:

倉庫検査 (whinh3622m000) セッションで、次の操作を行います。

- [適合レポート] フィールドの適合コードを確認します。承認済購買オーダが倉庫管理で処理されると、このコードがデフォルト値になります。
- [詳細] をクリックして、コードにリンクされた適合文書を確認します。

注意: このセッションの [適合文書の受入] チェックボックスは無効です。

ステップ 4:

[テストタイプ] が [適合レポート] の検査オーダが作成されます。

ステップ 5:

検査オーダ (qmptc1100m100) セッションで、文書番号とテストデータの値を指定します。

ステップ 6:

検査オーダにリンクされた適合文書登録 (qmptc1650m000) セッションを表示します。

ステップ 7:

検査オーダー (qmptc1100m100) セッションのテストデータラインに文書番号が追加されている場合、適合文書登録 (qmptc1650m000) セッションの [文書状況] フィールドの状況は「照合済 (検査)」に設定されます。

ステップ 8:

検査オーダーセッションで、テストデータラインを [完了] に設定します。検査オーダーがリンクされているオーダー検査を完了し、処理します。

注意: 倉庫検査 (whinh3622m000) セッションで、個々の倉庫検査ラインの [適合文書の受入] チェックボックスがオンになっているかどうかを確認します。この適合のチェック後に、倉庫管理でこの倉庫検査オーダーが処理されます。

適合文書登録

適合文書登録には、ソースオーダーにリンクされている適合データがあります。

適合文書登録には、検査処理時に適合レポートにリンクされたロット番号またはシリアル番号の詳細もあります。

指定した適合文書が適合文書登録 (qmptc1150m000) セッションで使用できない場合、検査オーダーと共に登録が作成されます (詳細については、「テストの組合せを指定する適合レポートを導入するには」を参照)。

適合文書登録はマニュアルで作成できます。出荷の入庫前に適合文書の詳細を受取った場合、適合文書を作成できます。

発送前登録

適合文書登録のマニュアル作成は、発送前登録を導入するために使用します。場合によっては、商品の発送前に適合文書を送付するように顧客が要求することがあります。発注先が文書を確認すると、適合登録の詳細が更新されます。

発送前登録の導入

ステップ 1:

テストの組合せ (qmptc0119m000) セッションで、指定の品目または品質グループに対するテストの組合せを作成します。

ステップ 2:

購買オーダー (tdpur4100m900) セッションまたは販売オーダー (tdsls4100m900) セッションで、指定の組合せに対する購買オーダーを作成します。

ステップ 3:

オーダーを承認し、倉庫管理にオーダーを発行します。

ステップ 4:

適合文書登録 (qmptc1650m000) セッションで、次の操作を行います。

- 発生元を購買/販売、オーダー発生元を購買/販売オーダーに設定して、新規登録を作成します。注意: 購買オーダーの発送前登録は、購買オーダーラインの状況が「倉庫管理へ発行済」の場合にのみ作成できます。
- 適合のデフォルト値は、購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションまたは販売オーダーライン (tdsls4101m900) セッションから取得されます。
- デフォルトは、適合コードにリンクされている適合文書です。(詳細については、ロット品目およびシリアル番号付品目に要する文書数を参照)。
- 文書のデフォルトの状況は「オープン」です。
- [文書番号] フィールドに文書を指定します。文書を指定すると、[文書状況] が [事前登録済] に設定されます。

ステップ 5:

文書の確認後、文書を次の状況に設定できます。

- 事前承認済: 文書が仕様に適合している場合
- 事前承認なし: 文書が仕様に適合していない場合
- 取消済

ステップ 6:

倉庫検査 (whinh3622m000) セッションで、次の操作を行います。

- [適合レポート] フィールドの適合コードを確認します。承認済購買オーダーが倉庫管理で処理されると、このコードがデフォルト値になります。
- [詳細] をクリックして、コードにリンクされた適合文書を確認します。

注意: このセッションの [適合文書の受入] チェックボックスは無効です。

ステップ 7:

検査オーダー (qmptc1100m100) セッションの検査オーダーテストデータラインの文書番号のデフォルト値は、適合登録から取得されます。

ステップ 8:

テストデータラインに指定された文書番号が、適合文書登録の文書番号と一致する場合、状況が「照合済 (事前検査)」に設定されます。

注意: 指定された文書番号が、適合文書登録 (qmptc1650m000) セッションに指定された文書と異なる場合、検査オーダーに指定された文書番号で適合文書の文書番号が上書きされ、文書の状況が「照合済 (事前検査)」に設定されます。

ステップ 9:

検査オーダー (qmptc1100m100) セッションで、テスト結果を指定し、検査オーダーを完了します。適合登録のテスト結果が更新されます。

ステップ 10:

オーダー検査 (qmptc1620m000) セッションで、オーダー検査を完了し、処理します。

ステップ 11:

倉庫検査 (whinh3622m000) セッションで、個々の倉庫検査ラインの [適合文書の受入] チェックボックスがオンになっていることを確認します。この適合のチェック後に、倉庫管理でこの倉庫検査オーダーが処理されます。

一部入庫の発送前登録の導入

販売オーダーラインが発送前登録の適合登録にリンクしている場合、購買オーダーラインの品質全体について適合登録が作成されます。

検査オーダー (qmptc1100m100) セッションでのテストデータラインは、適合文書 (qmptc0191m000) セッションの [ロットごとに 1 文書] チェックボックスまたは [シリアルごとに 1 文書] チェックボックスのオン/オフに基づいて作成されます。

実際の入庫時に、適合登録の倉庫検査詳細が更新され、登録が入庫にリンクされます。

一部入庫の場合、入庫にリンクされていないラインは、登録の個別 (レコード) セットとして表示できます。次回入庫時に、これらのラインが新規入庫にリンクされます。すべてのライン (取消済と事前承認済を除く) が入庫にリンクされるまで、この処理が繰り返されます。

オーダーのすべてのオープンラインは、適合文書登録文書 - オーダ、オーダーライン別 (qmptc1551m000) セッションで表示できます。

